

全建発第5-086号
令和5年 7月 6日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石久和
(公印省略)

令和5年度 実地研修会（東京湾アクアラインと首都高速道路の保全） の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本会では、建設技術講習会（10開催/年）と実地研修会（5コース/年）を実施しており、建設技術講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからのインフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるための i-Construction の推進に向けた取組など、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げることとしています。また、実地研修会では、明石海峡大橋、大河津分水路改修事業など、一般に視察が困難な現場等を少数で視察することとしています。

これらの講習会・研修会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

本実地研修会では、東京湾アクアライン及び首都高リニューアルプロジェクト・東品川栈橋・鮫洲埋立部更新事業を視察することにより、道路構造物（橋梁・トンネル・海ほたるなど）や施設設備（電力設備・防災設備・機械電気通信設備など）の保全点検業務や、開通以来50年以上にわたる過酷な使用状況や海水による激しい腐食環境から重大な損傷が多数発生していた道路構造物の、耐久性と維持管理性に優れた構造への造り替えによる長期的な安全の確保について学ぶことを目的としています。

つきましては、本実地研修会を研修の場として活用されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸・黒崎
TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640
MAIL kensyu@zenken.com